

ソラマメ（露地）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露 地	○ △ ～ ◎ — ※ —											
主な作業	<div> <div>摘 収</div> <div>芯 穫</div> </div> <div>播低 本 移 主</div> <div>種温 圃 植 枝</div> <div>処 準 摘</div> <div>理 備 芯</div>											

技術体系

1 作型の特徴

露地栽培は、種子の低温処理を行って開花期を早め、4月中旬～下旬から収穫する作型である。

2 適応地域

平坦地域

3 栽培条件

（1）温度

低温により花芽分化するので、種子は低温処理が必要である。

種子の発芽適温は 15 ～ 20℃で、10℃以下又は 30℃以上になると発芽率が悪くなる。

生育適温の幅は狭く 16 ～ 20℃とされ耐暑性は劣る。また、花芽分化後は－5℃で茎葉が枯死することがあり、特に花や幼莢は低温に弱く 0℃以下になると落花、落莢や子実の生育不良をおこす。

（2）土壌条件

土壌の適応範囲は広いが、耐乾性が劣るため、保水性の良いやや粘質土壌が向いている。火山灰土はリン酸の肥効が悪いため、事前に改良が必要である。

酸性土壌を嫌い、中性又は微アルカリ性土壌を好む。

4 施設装備

（1）冷蔵庫

5 経営目標

（1）収量 1.5t/10a

（2）投下労働時間 580 時間/10a

（3）所得率 55 %

（4）経営規模 10a
（家族労働力 2 人の場合）

栽培技術

1 品種と特性

「陵西一寸」

「ハウス陵西」

ハウス栽培参照

2 育苗

（1）播種量

本圃 10a あたり 7 ～ 8 ㍓

（2）催芽と低温処理

10 月上旬頃おこなう。ソラマメは低温処理を行うことにより、開花節位を下げ、開花期を早める効果が高いので、必ず実行する。

欠株に対応するため 9cm ポリポット等に補植苗を準備する。

3 本圃の準備

植え付け 1 週間前にはマルチングまで終了しておく。

（1）施肥量 (kg/10a)

	N	P ₂ O ₄	K ₂ O	備 考
基 肥	10	12	10	堆肥 2t
追 肥	4	4	4	炭酸苦土石灰
全 量	14	16	14	120kg

（２）栽植様式

畦幅 120cm、株間 55cm(1,510 株/10a)を標準とする。

４ 移植(定植)

移植の１週間前までにマルチングし、畦の中心より少し肩側に移植穴を開ける。

原則として移植は浅植えにする。

５ 本圃の管理

（１）整枝と誘引

整枝は１月頃行ない、基本的には３本仕立て、Ｌ字誘引とする。最初は側枝を４～５本残し、２月下旬頃３～４本に整枝する。

（２）摘花と摘莢

１節１莢を目標に行う。蕾の頃から１節２花を残し、着莢後３粒莢以上を残す。

（３）追肥と灌水

追肥は、着莢確認後施用する。１回あたりの追肥量は１０a 当たり窒素成分 2kg とする。ソラマメは水分が不足すると子実の肥大が劣るので春先の好天時は適宜に灌水する。（目安：pF1.8 ～ 2.0）。

（４）防寒対策

１２月中旬～圃場の周囲に防風ネットを設置し、防寒に努める。

５ 収穫

過熟にならないよう適期収穫に努める。